

## ステップ1

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【1】相手の都合関係なしに一方向的に話す。
タイトル (教材名)	他者に意識を向ける
目的 身につけてほしい力	他者を意識したやりとりの基礎を培う。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>他者にボールをやさしく投げ返す等ボールのやりとりができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手が受け取りやすいよう意識して投げる</li> <li>○相手の状況を見て投げる(片手 目隠し 移動不可など)</li> <li>○相手が投げ返してくれるのを待つ</li> <li>○ボールの種類を説明しながら投げる(ピン球 バレーボールなど大きさや重さ投げる位置などを説明して投げる)</li> </ul> 
教材の使用方法	<p>「投げるよ」「いくよ」などの声かけを行いながら投げるようにする。</p> <p>相手の動きに注目しやすい声かけを行う。「もうすぐ投げるよ」</p> <p>相手の状態を投げる前に意識させる「今度は片手だけでキャッチしようとしてるね」</p>
その他	

## ステップ2

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【1】相手の都合関係なしに一方向的に話す。
タイトル (教材名)	距離感を意識した声の調整
目的 身につけてほしい力	相手の状況に合わせてとともに聞きやすさを意識して話す。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>他者との位置関係を意識して声を調節する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との距離を意識して音量を変える(遠い 近い)</li> <li>○他者との位置関係を意識して声かけをしてから話す(向こうを向いている 第三者と話しているなど)</li> </ul> 
教材の使用方法	<p>「声が届いているかな」「聞こえているかな」と自己修正できるような声かけをする。</p> <p>他者の状態を意識させる声かけを行う。「まず何を言えば聞こえやすくなるかな」</p>
その他	

### ステップ3

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【1】相手の都合関係なしに一方向的に話す。
タイトル (教材名)	場や相手の状態を意識する
目的 身につけてほしい力	場の再現や実際の場面を活用して適切なコミュニケーションの方法を知る
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>場や相手の状況に応じて、主体的なコミュニケーションを展開できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○良いパターンと悪いパターンを比較し、他者がどのように思うか考える</li> <li>○自分の言動をビデオに録画し、客観視する練習を行う</li> <li>○面接場面のシミュレーションなどで練習をする</li> </ul> 
教材の使用方法	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(悪) 他者が別の人と話している状態に割り込んで話しかける。</li> <li>(良) 他者と会話中の人に「今大丈夫？」と声かけをしてから話をする。</li>   <li>(悪) 距離が近いのに大声で話しかける。</li> <li>(良) 距離にあった音量で話しかける。</li>   <li>(悪) 相手が話し終わらないのに自分が話し始める。</li> <li>(良) 相手の話の区切りにあわせて話し始める。</li> </ul>
その他	できればロールプレイングもあわせて行う。